

令和3年度 事業計画書



自 令和3年4月 1日
至 令和4年3月31日

一般社団法人つくばグローバル・イノベーション推進機構

夢を育み、未来を創る街

一般社団法人つくばグローバル・イノベーション推進機構

令和3年度事業計画書 目次

- 1 令和3年度事業計画の基本的な考え方
- 2 事業活動の内容
 - (ア) 技術シーズの事業化支援
 - ① 茨城県次世代技術活用ビジネスイノベーション推進事業ビジネスプラン実証
 - (イ) プラットフォーム（共創場）の構築
 - ① つくばにおける技術相談のワンストップ窓口による支援
 - ② つくばイノベーション・エコシステム構築に向けた合同連絡会の開催
 - ③ 交流の場の提供（つくばイノベーションプラザの活用）
 - (ウ) 特区プロジェクトに対する横断的な支援及びその他の活動
 - ① 特区プロジェクトの推進による産業化支援
 - ② つくばライフサイエンス推進協議会（TLISK）の運営
 - (エ) 情報発信活動
 - ① 各種展示会等への参加
 - ② 広報媒体の強化
 - ③ 視察等のコーディネート
 - ④ 筑波研究学園都市科学技術支援セミナーなどの開催
- 3 会員との連携活動の推進
- 4 法人の運営に関する事項

1 令和3年度事業計画の基本的な考え方

令和3年度は、TGIが法人化され8年目を迎えます。文部科学省の補助事業「地域イノベーション・エコシステム構築形成プログラム」は、5年目を迎えた令和2年度一杯で（事業の集大成として研究成果報告会（令和3年1月13日）を開催）終了しました。これまでの補助事業5年間で培ったノウハウ等を基に、更なるつくば地域でのイノベーション・エコシステム構築のための取組を実施します。

つくば地域の豊富な技術シーズを事業化へと導き、世界に大きなインパクトを与える成功事例を創出するべく、技術シーズの発掘を入口として、育成から出口目標まで一貫した支援を実施します。事業化の出口としては、企業への技術移転やベンチャー企業の創出・成長（IPO）、また、先端的サービスの社会実装を目指します。支援にあたっては、茨城県、つくば市、筑波大学等と連携した人材育成支援や、企業・投資機関等へのアプローチ（売り込み、つくばへの呼び込み）、社会実装支援を実施します。

2 事業活動の内容

（ア） 技術シーズの事業化支援

つくば地域の豊富な技術シーズを事業化へと導き、世界に大きなインパクトを与える成功事例を創出するべく、技術シーズの発掘・育成から出口まで一貫した支援を実施します。事業化の出口としては、企業への技術移転やベンチャー企業の創出・成長（IPO）、また、先端的サービスの社会実装を目指します。支援の一環として、茨城県、つくば市、筑波大学等と連携した人材育成支援や、企業・投資機関等へのアプローチ（売り込み、つくばへの呼び込み）、社会実装支援を実施します。

① 茨城県次世代技術活用ビジネスイノベーション推進事業ビジネスプラン実証

茨城県の「次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業（内閣府地方創生推進交付金事業）」を通じ、中小企業・ベンチャーの次世代技術・革新技術を取り入れた新ビジネス創出を支援します。具体的には、次世代技術等と取り入れたビジネスプランの事業化のため、ビジネスプラン実証を資金的に助成し、そのための審査・管理等業務も実施します。また、技術課題や生産課題、経営的課題、人材マネジメントなどの、事業化のために必要な資金面以外の課題の解決と推進のためのメンタリング支援を実施します。つくば地域の豊富な研究開発シーズ・技術シーズとネットワーク、さらに、TGIのもつ業界を超えた幅広いナレッジを活用することで、中小企業等が取り組む新ビジネスの事業化のための技術開発や競争優位性を備えた技術・製品への変容を支援し、早期の上市につなげるための支援に取り組みます。

(イ) プラットフォーム（共創場）の構築

① つくばにおける技術相談のワンストップ窓口による支援

筑波研究学園都市の各研究機関とのネットワークを活用したマッチング支援等を通じて、研究者や企業の課題解決を実現する「つくばテクニカルコンシェルジュ（TTC）」活動を推進します。

特に、つくば地域の多様な研究成果を地域社会や産業界へ還元するために、様々な企業の技術的ニーズが TGI に集積し、研究成果との橋渡しを実現する姿を目指し、本取組をつくば地域のみならず全国的に PR していきます。また、JETRO や茨城県グローバル戦略チーム等と連携し、国際的な活動も推進します。

② つくばイノベーション・エコシステム構築に向けた合同連絡会の開催

筑波研究学園都市は多彩な領域で先端技術を有した機関が多数存在しています。地域連携の機会強化のため、つくば市並びにその周囲の大学・研究機関、企業、支援団体、茨城県の産学官連携に携わるメンバーによって構成される「つくばイノベーション・エコシステム構築に向けた合同連絡会」を定期的で開催し、令和3年2月の開催で第19回を数えることになりました。前年度は新型コロナウイルス感染症対策により、一同に集合しての人的交流が制限される風潮でしたが、オンライン開催で従前同水準の参加者による情報交換の機会が維持されました。

今年度についても各機関間の情報共有、イノベーション創出に向けた意見交換、基礎研究・産学連携施策の紹介や知財関連情報共有など、関係機関の協力を仰ぎながら定期的な開催を継続して実施します。

③ 交流の場の提供（つくばイノベーションプラザの活用）

つくば駅前であるつくばイノベーションプラザの利便性を活かして、研究者と企業等との打合せや人脈づくり、ビジネスチャンスの出会いの場としての活用を図り、つくばにおける研究者と企業との交流を促進します。

(ウ) 特区プロジェクトに対する横断的な支援及びその他の活動

① 特区プロジェクトの推進による産業化支援

茨城県、つくば市と連携し、昨年度から引き続き、各プロジェクトの進捗状況を確認しながら、特区支援制度の活用促進や会議の開催・運営、広報などの支援を行います。会議の内容は、各プロジェクトの進捗を定期的に報告するもの他、茨城県・つくば市・TGI の事務担当者が集まり、全体の方向性の確認や、支援制度活用可能性のある案件の共有を目的としたものを実施します。

② つくばライフサイエンス推進協議会（TLSK）の運営

つくばライフサイエンス推進協議会の事務局を行います。TLSK ピッチ会と若手交流会を開催します。

(エ) 情報発信活動

TGI の認知度の向上を図るため、ウェブサイトや各種イベント等を活用し、情報発信及び広報活動を行います。

① 各種展示会等への参加

連携可能性のある研究者、企業等が多く集まる展示会等に出展し、特区プロジェクト等の情報発信を行います。

② 広報媒体の強化

TGI ホームページの掲載内容の見直しを行うなどウェブサイトの機能強化を行います。また、随時更新を行い、最新情報を提供します。パンフレット等の広報媒体についても必要に応じて改訂を実施します。

③ 視察等のコーディネート

国内及び国外からの筑波研究学園都市への視察等の受入れを積極的に行い、筑波研究学園都市のPR、TGI の事業活動の認知度向上を図ります。

④ 筑波研究学園都市科学技術支援セミナーなどの開催

JST 事業、NEDO 等への応募の勉強会や各省庁の政策勉強会などを開催します。

3 会員との連携活動の推進

TGI の設立趣旨や事業活動に賛同する会員（企業、研究機関、個人等）との連携活動を推進し、TGI の活動の促進を図ります。また、会員を増加させます。

4 法人の運営に関する事項

TGI の事業全般の企画立案、計画の策定、執行等のため以下の会議等を開催します。

- ・総会（定時総会及び臨時総会）
- ・理事会（通常理事会及び臨時理事会）